

# 世界の文化

2015年10月11日  
東洋経済オンライン

東洋経済オンラインの「中国ビジネスで生き残るための5つの鉄則」という記事の中で世界の文化を取り上げています。

世界には色々な文化がありますが、それぞれの文化を尊重することが大切です。

西洋は「罪の文化」で、神が自分をどう見ているかを気にする文化です。  
キリスト教を中心に、神が一番→人間が二番→自然は人間に征服されたもので三番の序列をつけます。  
民主主義の考え方が定着した法治国家。

日本は「恥の文化」「道徳意識が強い文化」、他人の目を気にする文化で職人の国。八百万の神の国なのです。  
人は亡くなると全て神になると思っているのが日本人です。  
人間は自然に生かされているの考えが強く、日本人は自然が一番→神が二番→人間は三番の順番に序列をつけます。  
民主主義の考え方が定着した法治国家。

中国は「メンツ(面子)の文化」、「人を欺く文化」、「金儲けが大事という文化」で商人の国です。  
「だます奴は悪くなく、だまされる奴が悪い」というのが一般的な国民性です。日本人とは正反対なのです。こわいこわい！  
「メンツの文化」とは自分の立場が無視されていないかどうかを気にする文化で、中国人がメンツにこだわるのは一種の中華思想の延長なのでしょう。  
人前で罵倒されたり恥をかかされたりすると、いつまでも根に持つから要注意です。  
中国は共産党の一党独裁体制で法治国家とは言えません。言論の自由もありません。国家主席による人治国家。  
共産党がすべてに優先する社会です。